

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	サンノゼ州立大学 (国名: アメリカ合衆国)	
留学先学部名(またはプログラム名)	交換留学	
留学期間	26 年 8 月 ~ 26 年 12 月	
学部/学府・年次	工学府	M1 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	無	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	修論に必要な実験が出来ない時期を少しでもすくなくするため、留学期間を1セメスターとした。また、所属先での総合試験・院セミ等を正規の日程では受けられなかったため、指導教員・所属学科の先生方に相談をして時期をずらしていただいた。	
進路の予定	1. 就職 (時期: H28 年 4 月から)	
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	帰国後の H27 年 3 月から就活予定	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	した	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	役立った	
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	主に一コマ3単位の講義が多い。1セメスターあたり12単位が最低受講条件である。講義体系は主に2種類あり、一つは一コマ75分授業で週に二回あるもの、または一コマ165分授業で週に一回のものがある。日本の大学と比べ宿題の量はかなり多い。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>セメスター前に交換留学生への説明会があり、安心できる。授業でわからないところがあればオフィスアワーが各授業で設けられているため各自先生に質問に行くことができる。またレポートの添削などをしてくれるサポートもあるので積極的に利用することを薦める。住居に関しては、交換留学生のためアイハウスまたはオンキャンパスの寮のどちらかは確実に確保してくれるため助かる(ただし、期限までに申し込むこと)。ヘルスケアセンターもあるため病気になっても安心である。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>サポート体制はかなりしっかりしていると思う。交換留学生担当の方はとてもフレンドリーで些細な質問もすぐに教えてくれるのでとても助かった。キャンパスもそこまで広くないため迷うことはない。ただ、ダウンタウンの中心部に位置するため、特に夜はキャンパス周辺やキャンパス内にもホームレスがいるため安全には気をつけて一人では出歩かないことを注意する必要がある。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>サンノゼにはバスで 30 分ほどのサンタナロウという場所に九大 CA オフィスがあり、松尾所長や国際部職員の方にまず挨拶に行くことを薦める。なんでも相談に乗ってくれる優しい方達のため、なにか問題や悩みがあれば力になっていただけると思う。サンノゼ州立大は受講できる講義はかなり多く、日本にはない分野の科目などもあるため、事前にシラバスをよくよんで後悔せず受講科目を選択することを薦める。また付属の語学学校を含めて日本人留学生がかなり多くいるのとシリコンバレーという立地からアジア人がかなり多く白人は約半数といった感じである。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>J-1</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>米国総領事館(大阪)</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>米国ビザ申請 HP にて DS-160 の記入 SEVIS 費用の振込 DS-2019 証明写真(5cm × 5cm) 銀行の残高証明書(英文) 成績証明書(英文) 面接予約</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>約 1 ヶ月</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>銀行の残高証明書(英文)と成績証明書(英文)の発行</p>

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	キャンパス周辺はダウンタウンであるが観光地があるわけではなく、静かである。夜は特に一人では出歩かないほうがよい。寮費にミールプランをつけて使用できるダイニングコモン(食堂)は毎日メニューが変わるがそこまで大幅な変更はなく飽きると思う。ドトールコーヒーがあるのは嬉しい。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 18.4 万円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費: 15 万円、光熱水料: 0 円、通学費: 0 円、食費: 3 万円、電話代: 4 千円、インターネット代: 0 円、書籍代: 0 円 その他:(具体的に)</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 0 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	変圧器やコンセントのプラグは基本的に不要 日本食(インスタント味噌汁など)
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	夜は一人では出歩かないほうがよい。特に 1st street 周辺は治安が悪い。学生証に学校でもらえるシールを貼れば、バスやライトレール(路面電車)はタダで乗れる。ライトレールでいけるアウトレットの中にダイソーがあるし、キャンパス近くに無印良品もある。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	クレジットカード二枚とキャッシュパスポートを持参した。キャッシュパスポートは現金が必要な時に ATM から引き出す用としてのみ使用した。

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	350 S 9 th St, San Jose, CA 95112	
費用(月額)	約 15 万円(平日 5 日の meal plan を含む)	
どのようにして見つけたか	サンノゼ大学からの連絡メール	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	推薦できる。SJSU への留学なら Ihouse か CVB の二択で、CVB では meal plan を付ける必要はないので料理をするヒトにはおすすめ(キッチンもそれぞれの部屋にある)。また洗濯も専用カードにお金をチャージするのでコインを用意する必要がなく楽。CVB は Ihouse に比べ新しいので、比較するとかなり綺麗。ただ、現地の学生が住む寮のため、留学生間のコミュニティは特になく、定期的なイベントもないが、意外と留学生も住んでいる印象があった。ルームメイトも 5 人中 4 人が留学生だった。	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	近くに日本町もあるので日本食には困らない。その分留学生を含め日本人は多いので、日本人がいない環境に留学したい人は注意が必要。近くにある九大 CA オフィスには到着早々に挨拶に行ったほうがよい。オフィスの人は優しく相談にも乗ってくれるので、困った時には頼っていいと思う。	
5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント

6. その他の特記事項